

新年あけましておめでとうございます NPO法人 しながわチャイルドライン 代表理事 浅川周二

2017年は会員およびご支援者の皆様のご協力により、種々努力を重ね、順調に推移してまいりました。

第16期の受け手養成研修は師走の14日に無事終了しました。来年も立正大学の小澤先生から、共催で開催したいの、お話をいただきました。しながわチャイルドラインの会員は80人近くになり、16期生が加わるとさらに増えることが予想され見えない事が多くなっています。組織の見直しも考えてまいりたいと思います。5月末の総会では定款の不備がわかり組織の基本の定款の見直し作業は有志による会議を重ねて、完成間近となりました。

夏の宿泊研修は助成金を頂き、格安な金額で開催、多くの会員が参加しました。養成講座も立正大学との共催によって、当会の負担が軽減されています。また、イオンの黄色いレシートキャンペーンも沢山の会員の努力によって、多くの金額が集まり、貴重な事務用品等が戴けました。毎月開催されている運営委員会、支え手会議、継続研修、そして、研修部、広報部、会計部、データ部、黄色いレシート部も各々充実した活動となるように努力しています。

会員も増え、子どもの声を聴く活動(常設、水、金)を増やしたいところですが、今後の検討が必要です。学校等へ出向き、チャイルドラインの事や子どもの権利について伝える出前講座のアウトリーチも広げていくよう行政や学校への働きかけをしていきたいと検討を重ねています。

会員の皆さんには受け手としての活動の他にも、組織を維持する事務方の仕事や各部の役割等にも積極的に参加していただき、ともに、しながわチャイルドラインをよりよくしていきたいものです。

2018年も会員一同、努力し頑張ってまいりますので、賛助会員の皆様、ご支援くださっている皆様、本年も、どうぞよろしくお願いいたします。

～第16期受け手&サポーター養成研修が無事終了しました！～



12月14日をもって第16期の受け手・サポーター養成研修が修了しました。研修生だけでなく研修部や参加頂いた現役の皆さんにとっても沢山の学びがあったかと思えます。回を追う毎に意見の交換が活発になって行くのは、見ていてとても気持ちの良いものでした。活動の中で直面するかもしれない問題に対し、不安を感じているような場面もありましたが、裏を返せばそれは意欲的かつ真摯に取り組む姿勢の表れでもあるわけで、来年度から、新しく始まるしながわチャイルドラインの活動が楽しみです。(研修部から)

◎日野学園へ伺いました！

～『チャイルドラインの紹介』&『子どもの人権』～

7年生の生徒さん約140人に出前講座を実施しました。最初に、寸劇で活動の様子を紹介、テーマは「親に認めて欲しい」と「言いたいことが言えない」の2題の電話の様子です。先生にも登場していただき各2名ずつで名演技！生徒さんからワーッと歓声が上がリ、しっかり聴いてくれました。

その後子どもの人権について、「ねー きて、人権って知っていますか？」と紙芝居風にすすめ『子どもの権利条約』の事、その基本的人権の大切な部分について触れて、世界に一人しかいない自分・自分の気持ちを大切にしよう！

もし自分の周りの人が大切にされていない時には次の3つを覚えておこう！
①嫌だって言おう ②誰かに話そう ③辛い時には逃げてもいい…と伝えました。また、そんな時には、チャイルドラインに電話していいんだよ、気持ちを話し聴いてもらって一緒に考えよう！と話しました。

最後に、『子どもの権利条約』のリーフレットを1冊づつプレゼントしました。



◎ドイツへ行ってきます！ ～メンバーに意気込みを聞きました～

ドイツといえば戦時の暗い歴史を思い起こす方も多くいると思います。現在のドイツでは学校教育として、自国が犯した罪について学ぶそうです。その結果、国民はナチスを連想するものを過剰なまでに気にしています。例えば授業の時、手を開いて、あげることはありません。ナチス崇拝のポーズを思い起こさせるからです。差別意識を消すのは難しいことかもしれません。ですが、集団がそれを禁止するから自分もそれに従うという行動をしていけば、それは結局戦時中のドイツと変わらないのではないのでしょうか？自分が物事に触れて考えた末に行動を決めることが集団にあって自分を見失わない生き方だと、昨年、ポーランド紀行の1週間で学びました。現在ドイツに生きる人々が何を思い生きているのかは、ネット検索や教科書からは捉えることができません。1年間という時間をドイツで生活する中でそれを感じることができたなら、きっと意味のある留学だと思います。もしかしたら、1の答えを得るために10の疑問が浮かぶかもしれません。それでも、この1年を決して無駄にすることのない、何かを得ることができ、今後に活かせると信じて行ってきます。また皆さんと見たもの、感じたことを共有する時を楽しみにしています。(S.K)

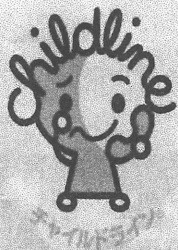


♡ありがとうございます♡(賛助会員及びご支援いただいている方々)

平間 早苗	藤井 裕乃	浅川 ハマエ	北島 まりあ	吉田 照子
高橋 潮	本道 秀夫	北島 浩之	山口 清子	高橋 敦子
川口 武宜	下浦 忠治	北島 尚志	東内 一明	甲斐 常逸
岩渕 則子	金子 みゆき	松澤 麗子	中川 治子	谷岸 佳子
酒井 暢子	井上 耕一	川本 祐美子	高野 陽一	米川 宏一
久埜 きし子	市島 志織	瓜生 アツ子	犬塚 悦子	末松 涉
佐藤 明子	山田 巴	河野 祐子	徳江 安子	猪俣 庸子
小管 明	荻原 眞帆子	岡崎 和代	入江 杏	山田 由紀子
木崎 都志子	稲塚 由美子	宇佐川 謡子	吉田 啓子	加藤 敬子
小林 明美	田角 恭子	大和 忠	江川 真未	大山 伊玖子
浅川 周二	北條 正子	清水 佳子	野村 絵美	遠藤 美美子
片山 享子	野澤 澄也	(順不同・敬称は省略させていただきました)		

一般社団法人昭和会館・東京都共同募金会・(株)東京正武堂・イオン(株)・青山ライフ出版(株)
清子フラスタジオ生徒会・花王ハートポケット倶楽部・花王(株)・東京Ⅲソント・かんべ土地建物(株)

◎チャイルドラインは、18歳までの子どもが、嬉しいこと・悲しいこと・悩んでいることや誰かに聴いてもらいたいことなど、どんなことでも、話すことのできる電話です。子どもの声に耳を傾け、気持ちに寄り添う、子どもたちの心の居場所です。子どもたちの話に共感し、つながり、子どもたちが安心して育つように活動しています。



18才までの子どもがかける電話

0120-99-7777

月曜日から土曜日 16時～21時

栃木県・埼玉県・東京都・山梨県・愛知県は日曜日もつながります

電話代はかかりません、携帯もOKです。

しながわチャイルドラインでは ・毎週金曜日 午後4時～9時 ・毎週水曜日 午後7時～9時半 ☎を開設しています

☆寄付やカンパでご支援ください☆

しなチャイメールアドレス

sinagawachildline

@hotmail.com

【正会員】年間6,000円(含学生)

【賛助会員】個人 1口2,000円から 企業・団体 5口10,000円から

振込口座 ゆうちょ銀行 振替口座 00160-5-664278

宛先:NPO 法人しながわチャイルドライン

* 会費・ご寄附の用途は◇子ども用配布カード作成費◇フリーダイヤルの継続費、活動費などです *